平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	設計製図3(Atelier Practice of Design and Drawing 3)			授業コード	C185201
担当教員名	近藤　正一、島岡　成治			科目ナンバリングコード	–
配当学年	3	開講期	前期		
必修・選択区分	建築コース(選択必修) インテリアデザインコース(選択必修) 環境・地域創生コース(選択)	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	2年後期の住居論及び建築計画2を受講することをお勧めします。				
受講心得	各課題の担当指導教員によるエスキスチェックが学習の中心となります。これを受けない者の課題提出は認められません。また、提出期限は厳守してください。				
教科書	コンパクト建築設計資料集成(丸善)日本建築学会編				
参考文献及び指定図書	建築設計課題のプレゼンテーションテクニック(彰国社)吉田研介著 ほか、随時紹介します。				
関連科目	住居論、建築計画1・2、設計製図1・2など。特に住居論および建築計画2では、それぞれの課題設計に必要な内容を講義します。				

授業の目的	設計製図1、2で培われた基礎的な設計能力を発展させることを目的とし、建築・空間デザインのために必要不可欠となる基本的知識と基礎的能力のさらなる充実を図ります。
授業の概要	設計製図3では、特に、空間創造・表現能力を重視し、二世帯住宅や美術館など、平面構成や空間構成において、そこで展開される生活行為の内容や機能構成、運営方式など前提条件に対する充分な理解が必要な設計課題の設計演習を行うことによって、建築設計の基本的知識と基礎的能力の充実を図ることを目的とします。家族、特に三世代が共に住む家族の生活の在り方や、不特定多数の人々の動線や美術作品の展示の在り方など、その前提条件を理解してもらい、敷地の充分な読みとりと効果的な配置計画、機能的な平面計画、合理的な構造計画、明確に意図され秩序づけられ空間構成、適切な図面表現などに関する諸能力を習得するよう指導します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： 二世帯住宅の設計1－課題説明 市街地に建つ二世帯住宅の課題説明を行います。課題の目的、場所、敷地形状、建築内容及び提出図面、提出期限について説明します。全体説明の後、各担当教員の指導方針とスケジュールが説明されます。また、必要に応じて、日本及び西洋の＜住まい＞のいくつかの例を紹介します。	配付資料 演習課題・エスキスの提出
第 2 週 ： 二世帯住宅の設計2－敷地調査と家族像の把握 地形や自然環境、周辺の街並みや街路形態など、敷地及びその周辺の現状調査と分析を行います。また、三世代の家族像を設定し、その住まいの設計に当たって課題となる内容を考察することによって、各自の住まいのテーマを見つけだします。	配付資料 演習課題・エスキスの提出
第 3 週 ： 二世帯住宅の設計3－全体像のデザイン 敷地全体に対する配置の基本コンセプトを設定し、各自のテーマに沿った住宅の全体像を、シュマ図やゾーニング図を描きながらデザインします。この際、既存の住宅建築の事例などを積極的に参照し、そこから学ぶことをすすめます。	配付資料 演習課題・エスキスの提出
第 4 週 ： 二世帯住宅の設計4－図面と模型の作成1 配置図や平面図、スタディ模型などによって、ゾーニングや各空間とのつながり、空間の適切な寸法計画とスケール感、及び適切な構造計画などに留意したデザインを行います。必要に応じて、見直しが行われます。	配付資料 演習課題・エスキスの提出
第 5 週 ： 二世帯住宅の設計5－図面と模型の作成2 三面図およびスタディ模型の制作によって、全体及び各室の空間デザインを仕上げます。特に立面図や断面図、模型によって、高さに対する考え方やヴォリュームのとらえ方、光の取り方など立体的デザインを重視します。必要に応じて、第2～4回の見直しが行われます。	配付資料 演習課題・エスキスの提出
第 6 週 ： 二世帯住宅の設計6－図面と模型の完成	

提出のための模型と図面を仕上げます。ここでは、各自の設計内容とコンセンプトを適切に表現するためのプレゼンテーションが求められ、さまざまな模型制作方法や図面表現方法、図面への写真の取り込み、CADやCGの利用などが指導されます。	配付資料 演習課題・エスキスの提出
第 7 週 ： 二世帯住宅の最終チェックおよび講評会 作品の出来映えを採点します。建築単体としての完成度はもとより、周辺環境との調和、提案を伝える表現の詳細について指導を受けます。また、各自の模型と図面が展示され、講評会が行われ、他の学生の意見や教員からのアドバイスを受けます。	配付資料 演習課題・エスキスの提出
第 8 週 ： 1週間課題（外部講師による設計講習） これまでの取り組みを踏まえ、さらに発展的な課題に取り組むための事前準備として位置付けられる、外部講師の出題による実践的な小課題に取り組みます。いわば縦に積み上げられた知識を横の視点から見つめ直すことと、新たな視座を得るための絶好の機会です。	配付資料 演習課題・作品の提出
第 9 週 ： 美術館の設計１－課題説明と敷地調査 美術館の課題説明を行います。また、地形や自然環境、周辺の街並みや街路形態など、敷地及びその周辺の現状調査と分析を行います。また、各自が設計する「美術館」の展示内容やそれ以外の活動内容など基本的性格について、現状とともに様々な例を参考にします。	配付資料 演習課題・エスキスの提出
第10週： 美術館の設計２－美術館の資料収集と全体空間構成の提示 美術館設計のための基礎的データと各自の設定した内容にふさわしい美術館を設計するために参考となる実例や設計例を収集し、それらを参考にしながら、空間構成の全体的シェマを作成、提示します。シェマは、図面、スケッチ、もしくは模型で作成します。	配付資料 演習課題・エスキスの提出
第11週： 美術館の設計３－図面と模型の作製1 全体空間構成をもとに、配置図や平面図、スタディ模型などにより、効果的で周囲の景観にふさわしい敷地計画、全体のゾーニングや各空間とのつながり、空間の適切な寸法計画とスケール感、及び適切な構造計画などに留意したデザインを行い、必要に応じて見直しが行われます。	配付資料 演習課題・エスキスの提出
第12週： 美術館の設計４－図面と模型の作成2 三面図およびスタディ模型の制作によって、全体及び各室の空間デザインを仕上げます。特に立面図や断面図、模型によって、高さに対する考え方やヴォリュームのとらえ方、光の取り方など立体的デザインを重視します。必要に応じて第８～第10回の見直しが行われます。	配付資料 演習課題・エスキスの提出
第13週： 美術館の設計５－図面と模型の作成3 三面図およびスタディ模型の制作によって、全体及び各室の空間デザインを仕上げます。特に立面図や断面図、模型によって、高さに対する考え方やヴォリュームのとらえ方、光の取り方など立体的デザインを重視します。必要に応じて第８～第11回の見直しが行われます。	配付資料 演習課題・エスキスの提出
第14週： 美術館の設計６－図面と模型の完成 提出のための模型と図面を仕上げます。ここでは、各自の設計内容とコンセプトを適切に表現するためのプレゼンテーションが求められ、さまざまな模型制作方法や図面表現方法、図面への写真の取り込み、CADやCGの利用などが指導されます。	配付資料 演習課題・エスキスの提出
第15週： 美術館の講評会 各自の模型と図面が展示され、講評会が行われます。講評会は、学生の口答によるプレゼンテーションの後、質疑応答と討論会の形式で行われますが、全出席学生に発言権があり、学生自身の発言力が試される場でもあります。	配付資料 演習課題・作品の提出
第16週： 補習 それぞれの課題について、学生によって必要に応じて、提出後の図面や模型の手直しや見直しについての助言、今後の学習課題などについて指導します。また、建築設計やインテリアデザイン全般について質問を受けつけます。	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①計画的に制作し、期限までに作品を完成させることができる。

【知識・理解】	②設計製図の基礎知識が身に付いている。
【技能・表現・コミュニケーション】	③効果的なプレゼンテーションと発表をすることができる。
【思考・判断・創造】	④二世帯住宅の計画を理解し、諸条件に基づいた提案により設計することができる。 ⑤美術館の計画を理解し、諸条件に基づいた提案により設計することができる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			10点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		20点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		25点	25点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		20点		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	原則として毎回、講義の最後に授業内容について課題を出します。提出をもって出席に代えますので、課題が課されたら、かならず提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	設計製図において、プレゼンテーションおよびコミュニケーションの能力は重要です。達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。